

2003年4月改訂(第2版、自主改訂)

1998年10月改訂(新様式第1版)

貯法：しゃ光・気密容器
使用期限：容器、外箱に表示

日本標準商品分類番号
875200

承認番号 (61AM)1171
薬価収載 1986年10月
販売開始 1986年10月

■ 126 ■

漢方製剤

マシニンガン
ツムラ麻子仁丸エキス顆粒(医療用)

【組成・性状】

組成	本品7.5g中、下記の割合の混合生薬の乾燥エキス2.25gを含有する。 日局マシニン.....5.0g 日局キョウニン.....2.0g 日局ダイオウ.....4.0g 日局コウボク.....2.0g 日局キジツ.....2.0g 日局シャクヤク.....2.0g	
	添加物	日局ステアリン酸マグネシウム、日局乳糖
性状	剤形	顆粒剤
	色	黄かっ色
	におい	特異なにおい
	味	苦味と渋味
	識別コード	ツムラ / 126

【効能又は効果】

便秘

【用法及び用量】

通常、成人1日7.5gを2～3回に分割し、食前又は食間に経口投与する。なお、年齢、体重、症状により適宜増減する。

【使用上の注意】

- 慎重投与(次の患者には慎重に投与すること)
(1)下痢、軟便のある患者[これらの症状が悪化するおそれがある。]
(2)著しく胃腸の虚弱な患者[食欲不振、腹痛、下痢等があらわれるおそれがある。]
- 重要な基本的注意
(1)本剤の使用にあたっては、患者の証(体質・症状)を考慮して投与すること。なお、経過を十分に観察し、症状・所見の改善が認められない場合には、継続投与を避けること。
(2)他の漢方製剤等を併用する場合は、含有生薬の重複に注意すること。ダイオウを含む製剤との併用には、特に注意すること。
(3)ダイオウの瀉下作用には個人差が認められるので、用法及び用量に注意すること。
- 副作用
本剤は使用成績調査等の副作用発現頻度が明確となる調査を実施していないため、発現頻度は不明である。
消化器：食欲不振、腹痛、下痢等があらわれることがある。
- 高齢者への投与
一般に高齢者では生理機能が低下しているので減量するなど注意すること。
- 妊婦、産婦、授乳婦等への投与
(1)妊婦又は妊娠している可能性のある婦人には投与しないことが望ましい。[本剤に含まれるダイオウの子宮収縮作用及び骨盤内臓器の充血作用により流産の危険性がある。]
(2)授乳中の婦人には慎重に投与すること。[本剤に含まれるダイオウ中のアントラキノン誘導体が母乳中に移行し、乳児の下痢を起こすことがある。]
- 小児等への投与
小児等に対する安全性は確立していない。[使用経験が少ない]

【包装】

500g、5kg(500g×10)、2.5g×42包、2.5g×189包

【文献請求先】

株式会社ツムラ 商品情報センター
東京都千代田区二番町12番地7 〒102-8422

